



※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2024年12月2日

# CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数：11/22-11/29)



	週間	月間	YTD
<b>VN指数</b>	<b>1.82%</b>	<b>-1.11%</b>	<b>10.67%</b>
<b>VN30指数</b>	<b>1.96%</b>	<b>-2.04%</b>	<b>15.89%</b>
<b>VN中型株指数</b>	<b>1.75%</b>	<b>-1.60%</b>	<b>7.45%</b>
<b>VN小型株指数</b>	<b>2.01%</b>	<b>-0.22%</b>	<b>2.31%</b>

先週のVN指数は1228.10ポイントから1250.46ポイントへと1.82%の続伸となりました。先週はトランプ次期米大統領が財政規律を重視するとみられるベッセント氏を次期財務長官に指名したことで、米長期金利が低下に転じ、通貨ベトナムドンが落ち着きを取り戻しました。海外投資家が買い越しに転じる中、市場は上昇基調となりました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が+1.96%、中型株指数が+1.75%と、それぞれ上昇を続けております。また、小型株指数は+2.01%と反発いたしました。

	週間	月間	YTD
<b>為替レート (ドン対円レート)</b>	<b>-2.24%</b>	<b>-2.14%</b>	<b>1.75%</b>

通貨ベトナムドンにつきましては、米長期金利の低下を背景に、米ドルに対して強含みの推移となりました。一方、ドル円相場は日銀による早期利上げも意識され、ドル安・円高が進みました。ベトナムドンは円に対して-2.24%と続落いたしました。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	1.4%	素材	1.9%
不動産	0.4%	公益事業	3.6%
生活必需品	1.9%	エネルギー	0.7%
一般消費財	1.9%	情報技術	7.6%
資本財	1.4%	ヘルスケア	8.4%

セクター別に見ますと、全セクターが上昇いたしました。特に右下のヘルスケアは+8.4%と上げ足を速め、その上の情報技術が+7.6%と大きく反発いたしました。一方、左上から2番目の不動産は+0.4%と小幅な上昇にとどまっております。



銘柄名[ティッカー]	騰落率
PVパワー（公益事業）[POW]	+8.8%
FPT（情報技術）[FPT]	+7.8%
バオ・ベト・ホールディングス（金融）[BVH]	+7.5%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
ビンホームズ（不動産）[VHM]	▲1.9%
ピンコム・リテール（不動産）[VRE]	▲1.1%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、発電大手のPVパワーが電気自動車の充電スタンド網の全国展開について、大手複合企業と事業提携したことなどから、+8.8%と大幅な続伸となりました。また、情報技術大手のFPTが+7.8%、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが+7.5%とそれぞれ反発しております。一方、下落銘柄は2銘柄にとどまりました。不動産開発大手のビンホームズが-1.9%と反落し、商業施設の開発・運営を手掛けるピンコム・リテールが-1.1%と続落いたしました。

### VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は上昇基調に転じました。ベトナムでは今国会で付加価値税の引き下げ措置が来年上半年も継続すると決定されるなど、今後も金融・財政の両面で政策対応が継続され、景気や企業業績の堅調さが続くと思込まれます。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10倍と過去平均を下回る水準にあり、引き続き割安感が注目されます。

以上